

「PTA活動について」

太田市立毛里田小学校
PTA会長 手塚光春



本校は、北東に渡良瀬川が流れ、北関東自動車道や国道五十二号、国道百二十二号が交差する位置にあり、桐生市、足利市と接し、市内の交通の要所である毛里田地区にあります。

児童数は、五百七十人の学校の規模な学校ですが、教職員、保護者一丸となって、学校活動が円滑にすすむよう、奉仕作業、バザー、科学教室等、様々な活動に取り組んでいます。

明治六年に開校し、今年で百四十一周年目をむかえ、その間、たくさん卒業生を送りだしてきました。音楽の教科書にも掲載されました「赤い花白ひ花」の作者である遠藤三恵さんが卒業され、田園風景が広がる田舎道を散歩しながら、口ずさんだ風景の面影が残っています。

本校のPTAは、本部と四つの専門部から構成されています。今年度開催の特色ある事業を紹介したいと思います。

- ・親子科学教室では、テレビ等でおなじみの足利工業大学の中條先生をお招きして、発展途上国の調理用燃料の現状を学び、簡単なダンボール工作でできのソーラークッカーの仕組みを学びました。
- ・毎年盛況なPTA主催のバザーでは、地域の方々から、提供いただきました商品を買取るとともに、本部役員が中心となり模擬店を出店し、バザー以外の内容でも楽しめるような工夫をしています。
- また、バザーの趣旨に賛同いただいた地元、その会の売上げの一部を学校活動に役立ててくださいますと、多大なる寄附をいただきました。

東日本大震災後より、市内震度五以上が発生した場合に備え、一回、児童の引渡し訓練も実施しております。

今年度、初めて開催しました「親子で落語」では、金原亭馬治さん、金原亭馬吉さんをお迎えし、落語の歴史等を学びました。落語は、内容の他に話し手の身振りや手振りから、相手の気持ちを汲み取ることを学び、落語家の先生からは、相手の表情、態度の些細な変化から相手の気持ちを読み取り、相手の気持ちになろうと考えることで、いじめの問題も少し解消されるのではないかと、の提言がとても印象的で、来年度以降も継続して取り組んでいきたい事業と考えております。

このように本校の児童「もりた子」は、緑豊かな静かな環境の中で、のびのびと学校生活を送っております。

近年、少子化の影響により児童数は若干減少傾向の中、共働世帯の増加、余暇および価値観の多様化により、PTA活動を取巻く環境は厳しくなりつつあり、行事開催には難題が山積しておりますが、今後とも学校活動が円滑に行えるよう学校と連携しながら、いかに環境作りを注力していきたいと思っております。



「教育の四本柱」

太田市立毛里田中学校
PTA会長 相馬 元



毛里田中学校の教育四本柱は、挨拶、清掃・緑化、合唱です。私たちが学校を訪れるたび、また校外で生徒と出会う時、柱は、挨拶、清掃・緑化、合唱です。私たちが学校を訪れるたび、また校外で生徒と出会う時、柱は、挨拶、清掃・緑化、合唱です。

平成二十六年十月二十七日、教育の四本柱の一つである合唱コンクールが行われました。早朝や放課後に各クラスで練習した成果を十分に発揮し、各クラス素晴らしい歌声を聴かせてもらいました。毎



「数小とあゆみの松」

太田市立 数本町小学校
PTA会長 佐野孝治



本校は太田市北西部に位置し、数塚温泉、数塚駅、かかし祭りなど知られていて豊かな環境の中にあります。

創立百四十二年、児童数は太田市で最多の九百六十六名と群馬県内でも二番目に児童数の多い小学校です。太田市と合併して十年になりました。

平成二十四年に校舎は増築新築し、より勉強しやすく、また校庭の中心にあった本校のシンボル「あゆみの松」も西側に移植され広々とした校庭としては、六月に東毛青少年自然の家で行う「親子うどん打ち」、一月にカルトピアで行う「ソーイヤーコンサート」が



第六十回 群馬県PTA渋川大会に参加して

太田市立強戸中学校PTA会長 松村 高幹



平成二十六年十一月二十九日(土)に第六十回群馬県PTA大会・家庭教育研究会が県内各地PTA会員多数参加のなかで、盛大に開催されました。午前中は家庭教育研究会におきまして分団会が六つに分かれて始まり、私は第二分団会「セブンネット」に参加しました。講師の方のお話はとても勉強になりました。あらためて環境が子どもたちに与える影響力の強さ、それに対する大人たちの対応の大事さを考えさせられました。

そして群馬県PTA渋川大会は、午後一時からのアトラクション、渋川市立渋川中学校生徒会製作による、いじめ撲滅を願った「踏み出せ 一歩」の上映によりはじまりました。短編映画の中にも製作者皆さんの「いじめ撲滅」に対する前向きな姿勢に情熱を感じるすばらしい作品でした。続いて大会式典、そして私自身でも楽しみにしていた講演会です。講師は一九九二年バルセロナオリンピック柔道金メダリストでもあり平成の三四郎の異名を持つ柔道家の古賀稔彦氏。演題は「人生の教科書」です。講演の内容は紙面だけではとても書ききれないほど興味深い話の数々で約九十分の時間があっという間に過ぎてしまふほど話に聞き入ってしまいました。とにかく何事にも努力を惜しむ気持を伝えたいと思います。



母親委員会

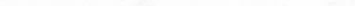
PTA会員の皆さまには無事に新年を迎えられたことと思います。前回の広報発行後も、母親委員会としては二回分を開催させて頂きました。

平成二十六年十月は、健康運動指導士である八ツ田麻実子先生をお招きして「親子でヨガ」を行いました。子ども達にとってはあまり馴染みのない運動でしたが、アシスタントの方も名お越し頂いたお陰で楽しそうにポーズを決めていました。大人達と言えば「イタタ」という言葉がよく聞かれました。な記憶があります(笑)。

同じく十二月には佐知子先生にお越しい頂きました。岩下先生は南米のハーブ「アルバ」の奏者・指導者であり、季節を感じる曲のほか、楽器の特徴を生かした選曲で楽しませて下さいました。子どもと大人のどちらの心にも染み入る音の響きに、年末の喧嘩をしばらく忘れたひと時を過ごすことができました。また非常にデリケートな楽器ですが、実際に触れる時間を多く取って頂き、これも私達にとって貴重な時間となりました。

平成二十七年になりました。一月三十一日の第五回母親委員会が今年度最終回となります。母親委員の皆さまと関係者の方々から「理解」と「協力」をうけたいと頂き、無事に次年度へ引き継ぎたいと考えております。ぜひよろしくお願ひいたします。

(母親委員長 生形 友子)

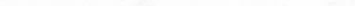


編集後記

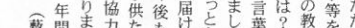
皆さん、こんにちは！

今年度の市P連広報紙の作成担当の北アロクです。広報紙の担当になってアという間の一年でした。より多くの情報や日頃の活動を少しでも多くご紹介させていただきたいとの想いで微力ながらやらせていただきました。各単Pの活動や行事等を知る事により、自身の家庭での教育にも役立ち成長出来たのではと思っております。励ましの言葉等もいただきました。ありがとうございました。今後とも市P連として、もともとして多くの活動や情報をお届け出来ればと思っております。今後とも陰ながらではありますが、子供たちの成長を願ってPTA活動に協力させていただきます。一年間、ありがとうございました。

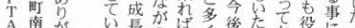
(数本町南小学校 PTA会長 林 雅志)



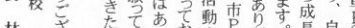
▲「親子でヨガ」



▲「アルバ クリスマスコンサート」



▲「親子うどん打ち」



▲「ソーイヤーコンサート」